

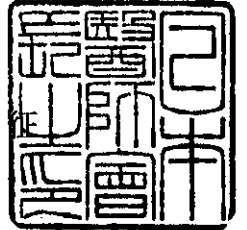


1682

日医発第 555 号(庶 78)  
平成 23 年 9 月 15 日

都道府県医師会長 殿

日本医師会  
会長 原中 勝

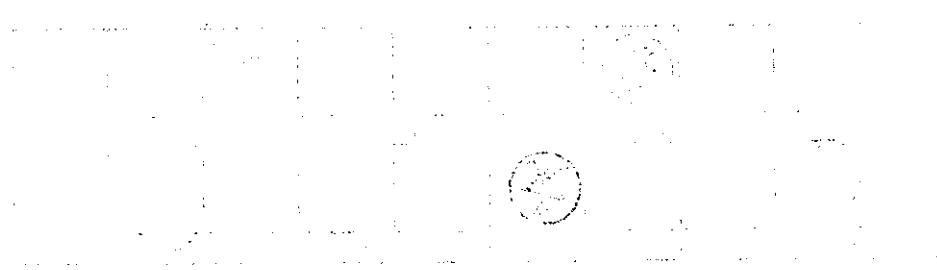


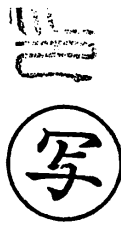
平成 23 年度結核予防週間の実施について

この度、厚生労働省並びに財団法人結核予防会より標記の件につきまして、別添のとおり依頼がまいりましたので、ご連絡いたします。

つきましては、周知用ポスター、パンフレットを 1 部お送りいたしますので、掲示につきご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

また、貴会管下の関係機関へのご周知方等も併せてお願い申し上げます。

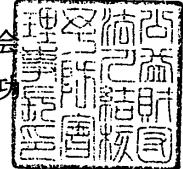




結 予 発 第 5 2 2 号  
平成 2 3 年 9 月 1 4 日

社団法人日本医師会  
会長 原 中 勝 征 様

公益財団法人結核予防会  
理事長 長 田 功



結核予防週間の普及啓発について（依頼）

本会事業につきましては、日頃より格別のご指導、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、標記につきまして本年度も9月24日から30日まで結核予防週間を実施いたします。

今年度も結核予防週間ポスター、普及啓発用パンフレット「結核の常識」を作成いたしました。

そこで、結核予防週間主催団体の貴会をはじめ、全国各地の医師会様へのご配布、掲示並びにホームページに本会の制作物を掲載いただき、広くご紹介いただくことができましたら、誠に幸甚に存じます。

つきましては、ご多用のところ誠に恐縮でございますが、ご協力を賜りたくよろしくお願ひ申し上げます。

担当：公益財団法人結核予防会事業部 小松田  
〒101-0061  
東京都千代田区三崎町 1-3-12  
TEL:03-3292-9288/FAX:03-3292-9208  
Mail:fukyu@jatahq.org（普及広報課）

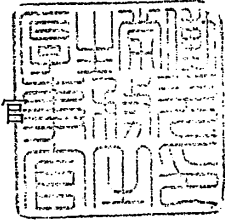


厚生労働省発健0727第6号

平成23年7月27日

社団法人 日本医師会会長 殿

厚生労働事務次官



平成23年度結核予防週間の主催について（依頼）

結核対策の推進につきましては、日頃から格別のご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。

標記について、9月24日（土）から30日（金）までの一週間を「結核予防週間」と定め、別紙「平成23年度結核予防週間実施要領」により実施し、国民の結核に対する意識のさらなる高揚を図ることとしたいので、主催団体としてご参加いただきたく、よろしく申し上げます。

なお、ご賛同の節は、お手数ながら8月10日（水）までにご回答下さるようお願いいたしますとともに、結核予防週間の趣旨の周知徹底につきまして格別のご尽力を賜りたく申し上げます。

あわせて、平成22年度結核予防週間に地方公共団体で実施された行事等の概要を送付します。

## 平成23年度結核予防週間実施要領

### 1 趣 旨

我が国の結核の現状は、年間約2万4千人の新規患者が発生し、約2千人が亡くなっており、世界的にも結核の中まん延国として位置付けられていること等から、引き続き十分な注意が必要であり、結核の克服のためには、関係団体、地方公共団体及び関係省庁との十分な協力の下で結核対策を推進することが必要となっている。

また、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律では、国及び地方公共団体の責務として、教育活動、広報活動等を通じた感染症に関する正しい知識の普及等、必要な措置を講ずるよう努めなければならない旨、規定されているところであり、今般改正された「結核に関する特定感染症予防指針」においても、結核に関する適切な情報の公表や正しい知識の普及等の重要性が規定されている。

こうしたことから、厚生労働省では、結核予防週間を契機として、結核に関する正しい知識を国民に深めていただくとともに、官民一体となった結核対策への取り組みの意識を高めることとするものである。

### 2 主 催 (予定)

厚生労働省、都道府県、政令市、特別区、社団法人日本医師会、公益財団法人結核予防会及び社団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会

### 3 後 援 (予定)

文部科学省、日本放送協会、社団法人日本新聞協会、社団法人日本民間放送連盟、財団法人日本学校保健会、社団法人国民健康保険中央会、健康保険組合連合会、社団法人生命保険協会、全国地域婦人団体連絡協議会、社団法人全国地区衛生組織連合会、社団法人日本放射線技師会、公益社団法人日本看護協会及び財団法人健康・体力づくり事業財団

### 4 実施期間

平成23年9月24日(土)から9月30日(金)まで

## 5 重点目標

国民の結核に対する正しい理解を得るため、地域の団体組織等を通じて、より一層の普及啓発を図る。

## 6 結核予防週間中の標語

「体がだるい？」「咳が治らないの？」それって結核かも…」

その他実施機関によって適宜作成するものとする。

## 7 実施行事等（例）

### (1) 結核予防週間の周知（各主催団体）

結核予防週間のポスターを作成し、関係各機関へ配布するほか、電車・バス内での広告、懸垂幕、電光掲示板等により国民一般に対して結核予防週間の周知を図る。

### (2) 資料の配布（各主催団体）

結核に対する関心を高めるため、関係各機関等に結核予防のためのパンフレット、リーフレット等を配布する。

### (3) 講演会、講習会等の開催（各主催団体）

結核予防活動を推進するため、関係団体を中心とした地区組織の拡充強化を図るとともに、各地において講演会、講習会、パネル展等を開催する。

### (4) 児童・生徒への結核の知識の普及（各主催団体）

結核の正しい知識を児童・生徒に普及するため、全国の小中高等学校において学級活動、学校行事等を通じて指導するよう、文部科学省の後援により呼びかける。

### (5) 街頭啓発活動の実施（各主催団体）

結核予防週間の周知と国民一般の結核に対する関心を喚起するため、結核予防を周知する語句の入った風船、広報ポケットティッシュ等を手渡すなどして結核予防思想の普及を図る。

### (6) 報道機関等との連携（各主催団体）

全国の主要な報道機関にリーフレット等の広報資料を配付し、結核予防週間の周知、行事の取材等を依頼する。

広報誌、関係機関誌等に結核予防に関する記事が掲載されるよう積極的に依頼する。

### (7) その他

上記のほか、各地域で適宜結核予防週間の趣旨に沿った行事を行う。

・各種集会の開催等

## 平成22年度結核予防週間における行事等の概要（実績）

### 1. 行事等の実施状況

	(実施件数)
・ 結核予防週間の周知（ポスター作成等）	99
・ 資料の配布（パンフレット・リーフレット等）	91
・ 講演会、講習会等の開催	55
・ 児童・生徒への結核の知識の普及	19
・ 街頭啓発活動の実施	51
・ 報道機関等との連携	50
・ その他	64
計	429

※ その他としては、結核無料検診の実施、音声告知放送での検診の周知、標語入りティッシュ・ボールペンの配布、広報ポケットティッシュの配布、広報車による宣伝、ケーブルテレビにて文字放送で結核予防週間の周知、自治体の広報誌・県ホームページに啓発記事掲載、市政情報の一環として市内の大型ビジョンを利用した広報、パネル展示、街頭キャンペーン、レントゲン車による街頭啓発、健康相談所の設置、公的機関への巡回啓発、複十字シール運動等による普及啓発活動等の行事などが行われた。

### 2. 行事等の具体例

- ・ 公共交通機関・広報車等による普及啓発  
路線バスや電車内に、結核予防週間に関するポスター等の掲示や広報車による巡回
- ・ パンフレット等の配布  
市民まつり、親子教室、スーパー及び百貨店等の場において、結核予防に関するパンフレットやマスクなどを配布
- ・ パネルの展示  
庁舎、保健所及び公共施設において、結核の現状や結核の症例（レントゲン写真等）をパネルにより展示

- 公共放送等の活用  
テレビ、ラジオ、新聞、電光掲示板、ホームページ等により、結核予防週間の特集や結核の現状についてや結核健診の日時・場所を周知
- 講習会、ビデオ上映会等の開催  
受講対象者（教育機関、各種企業、社会福祉施設、地域団体等の関係者）の特性を生かした講習会、結核に関するビデオ上映等を通じて結核の現状について周知、地元小学校における保健放送
- 相談窓口の開設  
結核に関する相談を電話、来所等で気軽にすることができる窓口を設置

# 結核の常識

## 2011

みんなに、  
知ってほしい。

結核って、オレたちの年代でも  
かかることがあるんだよ。  
でもね、正しい知識をもって、  
ちゃんと治療すれば治るんだ。  
もとみんなに知ってほしい。  
結核のこと。

ストップ結核  
ボランティア大使



9月24日 ▶ 9月30日は、  
結核予防週間です。

公益財団法人結核予防会 (JATA)  
<http://www.jatahq.org>

このパンフレットについてのお問い合わせはこちらまでお願いいたします。

〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-3-12 公益財団法人結核予防会 事業部普及広報課  
TEL : 03-3292-9288 FAX : 03-3292-9208 e-mail : fukyu@jatahq.org

※このパンフレットは複十字シール基金で作られています。



# 結核はどんな病気

## 結核は、「現代」の病気

### ●国内の結核(2009年)

結核新登録患者数 (新たに結核と診断され登録された患者、平成21年実数)	24,170人	罹患率	19.0
結核死亡数 (平成21年概数)	2,155人	死亡率	1.7

※ 率はすべて人口10万人対

今は医療や生活水準により、薬を飲めば完治できる時代。でも、1日に66人の新しい患者が発生し、6人が命を落としている日本の重大な感染症。

### こんなときは病院へ!!

結核の初期症状は、風邪とよく似ている。せきやタンが2週間以上続いたら、結核を疑って早めに医療機関で受診しよう。

せきが  
2週間続く

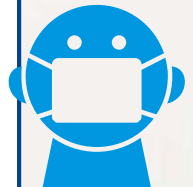
タンが  
出る

からだ  
がだるい

急に  
体重が減る

## 結核は空気感染する病気

せきが出るときにはマスクをつけることを心がけよう。通常は免疫機能が働いて、結核菌の増殖を抑える。ただ、免疫力だけでは結核菌を殺すことはできず、免疫力が弱まると発病するケースが増えているんだ。



結核とは、結核菌によって主に肺に炎症を起こす病気。結核菌の混ざったしぶきがせきやくしゃみと一緒に空気中に飛び散り、それを周りの人が直接吸い込むことによってうつってしまう。これを「空気感染」というんだ。

「結核かな?」と思ったら、医療機関を受診しよう。また人にうつさないために、せきが出る時はマスクをつけることをこころがけよう。

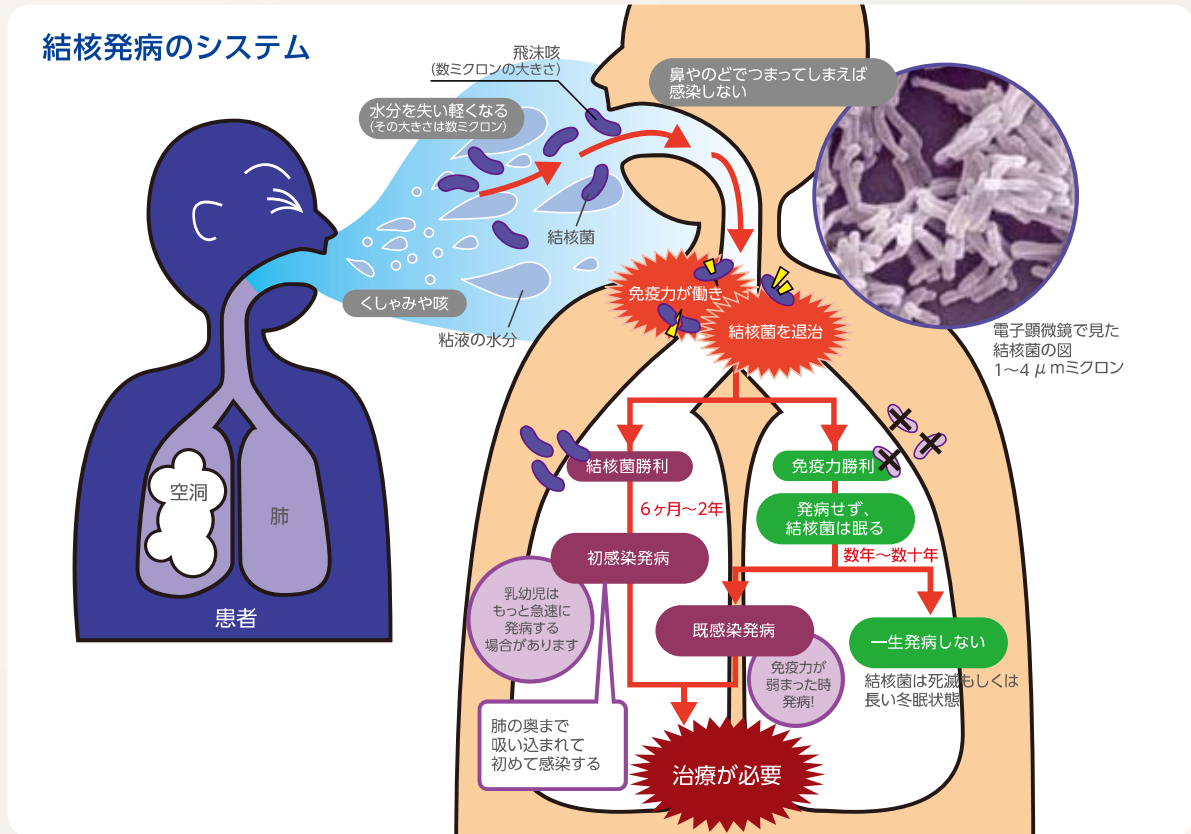
10人が結核に感染した場合、発病するのは1人~2人と推定されている。



# 結核の予防と治療を学ぼう

結核を正しく知ることが、予防の第一歩!

もし、結核にかかってしまっても、薬を飲むことで治療できる。



## 日本の結核6つの問題点

今でも日本は、世界の中では中まん延国で、問題はより複雑になっている

- 1 若者の結核も要注意** 若い世代の集団感染も問題になっている。
- 2 働き盛りの世代の発見が遅れている** 働き盛りの世代の発見の遅れは、次世代に結核を残す事になる。
- 3 外国人の割合が拡大している** 結核対策が十分に行われていない開発途上国から入国する若者の結核が増えている。
- 4 感染者がますます高齢化** 1990年代、60歳代が一番多かった結核患者は、2001年には70歳代、2006年には80歳代に多くなってきている。
- 5 地域格差がある** 大都市部に多く集中する傾向があり、国内の地域間格差が大きい。
- 6 HIV/AIDS (エイズ) との合併の危険** HIV感染者やAIDS発症者に結核菌が感染すると命とりになる。

## 結核の予防

結核は、免疫力の低下などで発症を引き起こすので、普段から健康的な生活を心がけ免疫力を高めておこう。

抵抗力の弱い赤ちゃんは、結核に感染すると重症になりやすい。予防するためには、BCG接種が有効で、生後3~6ヶ月に接種しよう。

2週間以上せきが続くようだったら、医療機関で受診しよう。抵抗力の弱い赤ちゃんには、BCG接種が有効。



普段の生活から予防しよう!



睡眠を  
十分にとる



適度に  
運動する



好き嫌いをせず  
バランスのとれた  
食事をする

## 結核の治療

結核と診断されても、6ヶ月間毎日きちんと薬を飲み続ければ治るけど、症状が消えたからといって治療の途中で飲むのをやめてしまうと治らないんだ。それどころか、菌は抵抗力をつけ、薬がまったく効かない**多剤耐性菌**になることもある。



多剤耐性菌にならないよう治療するには、医療従事者が患者に薬を処方するだけでなく、患者が服薬するところを目の前で確認する方式を採用しているんだ。これを**直接服薬確認療法**、DOTS(Drugs: Directly Observed Treatment, Short-course)といい、治療を確実にするために、服薬を支援するDOTSの推進が強化されている。心配がある場合には近くの保健所に相談してほしい。



一人一人が結核についての正しい知識をもつことが重要だ。  
いろいろな問題を解決するために、地域の特性を踏まえた患者中心の医療の確立を目指して、地域DOTS(ドッツ)の推進、病棟単位から病室単位への転換、医療の質の確保等を図る必要があるんだ。

## 世界をみると

世界では、総人口の約3分の1が結核に感染しており、毎年940万人が新たに発病し、170万人が命を落としている。また、HIV感染者の増加が結核のまん延を加速させるなど、深刻な問題になっている。(Stop TB Partnership TB Fact sheet 2010.より)

結核予防会も、アジア・アフリカの人々と協力して、結核をなくすための支援活動を行っている。



結核は、みんなの問題だ。  
結核対策を理解して、「結核の常識」をさらに深めてほしい。

もっと結核について知りたい人は…

結核予防会HP <http://www.jatahq.org>



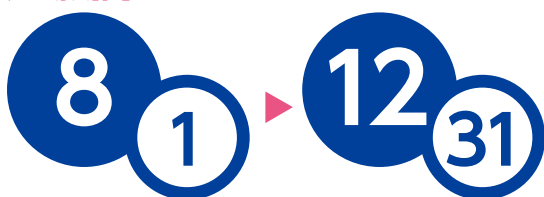
# 2011-2012 複十字シール運動



このマークは  
世界共通の  
結核予防運動の  
シンボルです

結核をなくすための複十字シール募金にご協力ください

## 運動期間



結核予防会では「結核のない世界」をつくるため、複十字シール運動による募金活動を実施しています。収益金は、結核予防の普及啓発活動、開発途上国への結核対策支援等に活用しております。

どなたでも参加できます！  
詳しくはコチラにご連絡ください。

公益財団法人結核予防会 事業部普及広報課

- ▶ TEL 03-3292-9287
- ▶ <http://www.jatahq.org>
- ▶ E-mail [shikin@jatahq.org](mailto:shikin@jatahq.org)

※運動期間外いつでも受け付けています



募金にご協力いただいた方にお配りしている複十字シールです



## Stop TB Partnership

ストップ結核パートナーシップ日本は、外務省、厚生労働省、結核予防会、JICA、製薬産業をはじめとする、官民の様々なパートナー組織と連携して国内外の結核対策を推進し、結核制圧の重要性を啓発する国際連携組織です。

### 私たちの目標

- ① 2050年、結核のない世界へ
- ② 世界の結核患者を10%削減する
- ③ 世界結核計画2006-2015の推進
- ④ 日本を低まん延国へ

活動にご賛同・ご支援して頂ける個人会員を募集しています。

### 特定非営利活動法人 ストップ結核パートナーシップ日本

〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-3-12 結核予防会内  
TEL:03-5282-3010 FAX:03-5980-8267

詳細はウェブをご覧ください

ストップ結核  
[www.stoptb.jp](http://www.stoptb.jp)

検索

